

鶴見緑地駅

Osaka Metro まちさんぽ

60分
コース

長堀鶴見緑地線 鶴見緑地駅

2,000万人「花博」記念公園

「まちさんぽ」おすすめコース

鶴見緑地は、計画から約70年をかけて水田地帯に造成した大阪市の大規模都市公園で、平成2年(1990)に開催された「国際花と緑の博覧会」の会場となりました。この花博をきっかけに「リニア地下鉄」が開通して、周辺は住宅地として発展しました。



スタート駅

鶴見緑地駅
長堀鶴見緑地線
①号出口

1
メタセコイアの並木

2
自然体験観察園

3
風車の丘・大花壇

4
鶴見新山

5
国際庭園

6
大芝生

7
緑地西橋

8
咲くやこの花館

ゴール駅

鶴見緑地駅
長堀鶴見緑地線

鶴見緑地は、昭和16年(1941)に空襲からの避難と延焼防止を目的にした防空緑地として計画されました。戦後は、大阪市の大規模都市公園として昭和37年(1962)から用地取得を再開し、昭和47年(1972)に鶴見緑地として開園しました。現在、122haに主要な27施設を擁しています。

メタセコイアは葉が対生

鶴見緑地駅
60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

長堀鶴見緑地線 鶴見緑地駅

2,000万人「花博」記念公園

「まちさんぽ」おすすめコース

鶴見緑地は、計画から約70年をかけて水田地帯に造成した大阪市の大規模都市公園で、平成2年(1990)に開催された「国際花と緑の博覧会」の会場となりました。この花博をきっかけに「リニア地下鉄」が開通して、周辺は住宅地として発展しました。

スタート駅

約 60 分

ゴール駅

長堀鶴見緑地線鶴見緑地駅 ①号出口

長堀鶴見緑地線鶴見緑地駅

鶴見

平安時代末期に近江の農民17人がこの地を開拓して、郷里の村の名前から辻村と名づけました。鎌倉時代、源頼朝が上洛の途上、富士の裾野で千羽の鶴をとらえて金の短冊をつけて放したところ、その鶴たちが舞い降りて棲みついたところが辻村でした。その鶴を多くの人々が見物にやってきて「鶴見」という地名がついたと、鶴見神社に伝承されています。

国際花と緑の博覧会(花博)

平成2年(1990)4月から9月まで鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会」は、日本を含む83カ国と55の国際機関、212の企業・団体が参加し、総来場者数は2,312万人に達しました。この博覧会開催にあわせて現Osaka Metro長堀鶴見緑地線が京橋-鶴見緑地駅間に日本で最初の「リニア地下鉄」として建設され、その後到大正駅から門真駅まで延伸されました。

1 メタセコイアの並木

大阪市立大(現大阪公立大)教授の植物学者・三木茂博士が昭和16年(1941)に常緑樹のセコイアに似た新種の化石を発見してメタセコイアと命名しました。絶滅種と考えられていましたが、中国湖北省に自生していることがわかり、その苗木が博士に届けられ、博士は全国にメタセコイアの植樹活動を進めました。鶴見緑地にも大阪で命名された生きた化石として中央通(ラクウショウと混植)と緑地西橋からの並木道に見事な樹姿を見せています。



2 自然体験観察園

昔ながらの里山を活かして、田畑・池・蓮田・雑木林・野草広場・湿地などが形成されています。田んぼでは古代米、畑では、毛馬胡瓜・勝間南瓜・難波葱・玉造黒門越瓜などの「なにわ伝統野菜」や河内木綿などが栽培されていて、市民ボランティアが世話をし観察が続けられています。



3 風車の丘・大花壇

大きな風車のある丘は大きな花壇になっています。春のチューリップやネモフィラ、夏のひまわり、秋のコスモスなど季節の花々が一面に広がります。風車は花博以前から緑地公園のシンボルでした。

4 鶴見新山

かつてゴミの処理地となっていた場所を地下鉄建設で排出した土砂で覆い、植樹を施して小高い人工の山を造成しました。昭和58年(1983)に鶴見新山と命名され、当初の標高は45m、現在は沈下して39mになっていますが大阪市内の最高峰です。晴れた日には頂上から大阪市内のビル群を望むことができます。



5 国際庭園

花博開催にあたって、各国や国際機関から独自の個性を表現した50の庭園が展示され、いまでも建設された建物がその跡地にモニュメントのように保存されています。花博当時の面影が残るエリアで、小さな世界旅行が楽しめます。最近ではインスタ映えする「コスプレイヤーの聖地」として有名になっています。



6 大芝生

甲子園球場の約4倍、52,500㎡もの大広場で、花博開催時は企業パビリオンが立ち並ぶ「街のエリア」だったところです。



ポプラとケヤキの並木が美しい景観をつくっています。

7 緑地西橋

明治6年(1873)に長堀川に架けられた心齋橋が明治41年(1908)に撤去されたあと、3度の移設(境川橋・新千舟橋・すずかけ橋)を経てここに設置されました。旧心齋橋の主構をそのまま使用して日本に現存する最古の鉄橋とされています。



8 咲くやこの花館

世界中の5,500種、約15,000株の植物が栽培されている国内最大級の温室です。外観は水に浮かぶスイレンの花をイメージしてデザインされました。地球上の多様な気候帯の植物が展示され、常に300種以上の花を楽しむことができます。館名は、『古今和歌集』にある壬に博士の歌からとられました。(月曜休館・入館料大人500円)



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2025年1月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行